



株主通信

2021年11月 No.53

2021年度第1・第2四半期報告(2021年4月~2021年9月)

特集 カーボンニュートラル社会へのロードマップ

EX・DX 一体推進による未来創造



堅調な各事業の
 上期実績などを踏まえ、
 2021年度通期業績見通しを
 上方修正するとともに、
 配当見通しを修正しました

業績

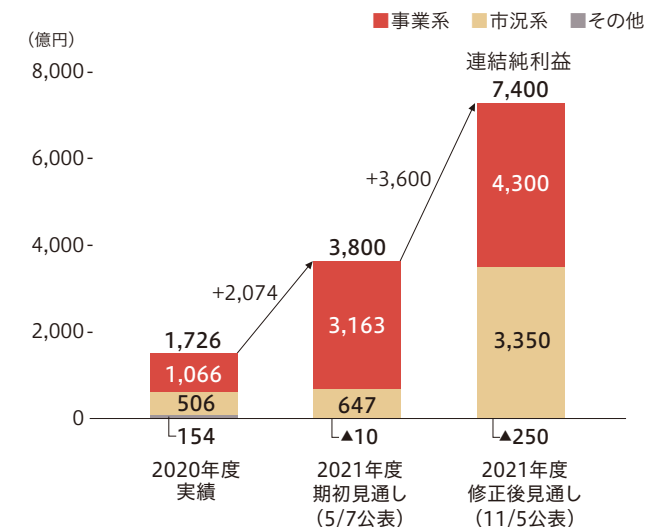
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2021年度第2四半期決算についてご報告申し上げます。2021年度第2四半期の三菱商事グループの連結純利益は3,606億円となり、前年同期比で2,739億円の増益となりました。自動車関連事業や鮭鱒養殖事業をはじめ、多くの事業で需要の回復を着実に利益に結び付けたことに加え、豪州原料炭事業、銅事業などが市況の追い風を大きく受けたことが主な要因です。当社の事業ポートフォリオの強みが業績につながったものと考えています。

2021年度の通期業績見通し

2021年度の業績見通しは、本年5月7日公表の期初見通し3,800億円から7,400億円に上方修正しました。第2四半期までの実績や、現時点で想定される変動要因なども踏まえ、業績見通しの水準を真摯に見極めた上で見直しを行ったものです。

2021年度下期については、値動きの激しい商品市況や、コロナウイルスの感染再拡大の可能性などがリスク要因としてありますが、着実に修正後見通しを達成していく所存です。

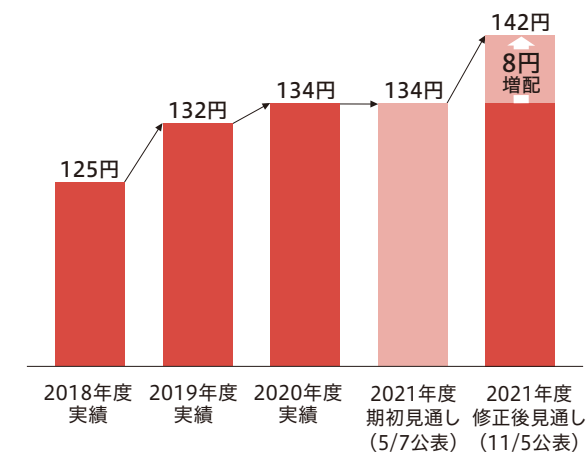
●連結純利益の推移及び2021年度の見通し



2021年度の配当見通し

2021年度の配当見通しについても、本年5月7日公表の期初見通し1株当たり134円から8円引き上げ、1株当たり142円としました。業績見通しの修正を受け、株主の皆様への期待にもしっかりとお応えすべく、累進配当制の下で配当見通しを引き上げ増配とするものです。

●配当見通し



「カーボンニュートラル社会へのロードマップ～EX・DX一体推進による未来創造～」を策定

2021年10月、当社は「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」を策定しました。世界共通の社会課題である気候変動問題に対して、資源・エネルギーをはじめとするさまざまな事業に携わってきた当事者として、天然ガスなどのエネルギーの安定供給責任を全うしつつ、カーボンニュートラル社会の実現に向けて脱炭素との両立を目指す取り組みを示したものです。

企業理念である三綱領、三価値同時実現による持続的成長を目指すという指針に加えて、「EX（エネルギー・トランスフォーメーション）・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の一体推進」という具体的な事業推進のテーマを全社共通で設定しました。

EX・DXの一体推進による 新たな未来創造

「ロードマップ」では、二つの定量目標を示しました。一つ目は、温室効果ガスの排出量削減です。2030年度に半減（2020年度比）、2050年にネットゼロを目指します。二つ目はEX関連投資です。2030年度までの9年間で2兆円規模の投資をグローバルに進めます。「EX・DXの一体推進」という大方針の下、目標に向かって取り組みを加速します。

EX関連投資として、再生可能エネルギー、銅をはじめとする電化を支えるベースメタル・レアメタル、次世代エネルギーとなる水素・アンモニア事業に積極的に投資するとともに、エネルギー安定供給責任を果たすために必要な天然ガス事業への投資も継続します。

DXの分野では、領域横断でデータを連携し、AIを最大限活用して効率化・最適化することで、産業全体・街全体の省エネや利便性を向上させる取り組みを、これからも推進していきます。例えば、再生可能エネルギー利活用のためには、発電所から家庭までの需給データをデジタルプラットフォーム上で連携させ、自然条件に応じて発電された電力供給と、人々のライフスタイルに応じた需要を無駄なくマッチングして最適化することが必要です。カーボンニュートラル化には、EXとDXの連携、需要者・供給者間の協力が不可欠であり、幅広い産業と接点を有する当社は、「EX・DXの一体推進」で、新たな未来創造を進めます。

未来に向けて

「EX・DXの一体推進」は、一企業・一事業分野で完結するものでもなく、生産者・供給者、行政

や消費者と共に取り組む必要があります。私たちは、地球温暖化や地方の過疎化・少子高齢化などの社会課題に直面しています。当社は、環境負荷が低く生産性が高い社会の実現を目指すとともに、便利で災害に強く、地域色豊かな自立した地域コミュニティの構築と活気ある街づくりに貢献していきます。

当社は、低・脱炭素化という世界の潮流をい

ち早く捉え、再生可能エネルギーや銅事業への投資など、10年、20年前から未来を見据えた必要な打ち手を実行してきました。これからも、グローバルネットワークや幅広い産業との多様な接点を活用し、強い意志と覚悟を持って、全社員一丸でカーボンニュートラル社会の実現に向けて取り組んでいきます。



2021年11月
代表取締役 社長

垣内威彦

業績ハイライト (国際会計基準)

2021年度第2四半期
(累計)業績

連結
純利益^{※1}

3,606 億円

配当金^{※2}
(1株当たり)

中間配当
71 円

2021年度
通期見通し

連結^{※1,2}
純利益

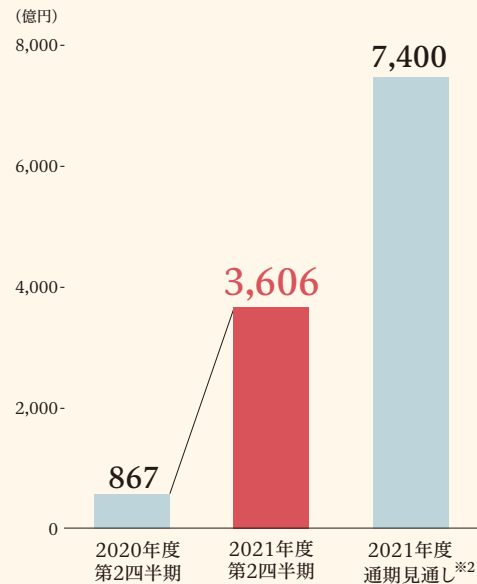
7,400 億円

配当金^{※2}
(1株当たり)

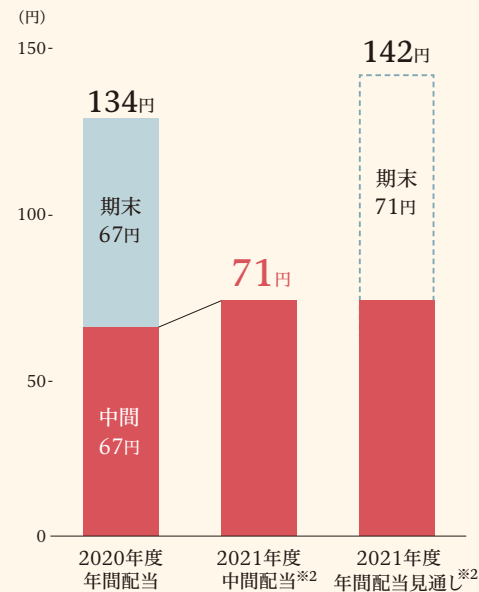
年間配当
142 円

※1 「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する連結純利益を表しています。
※2 11月5日(金)公表時点の額を記載しております。

連結純利益^{※1}



配当金 (1株当たり)



その他の指標・数字 (2021年度第2四半期実績)

収益

77,267 億円

総資産

195,427 億円

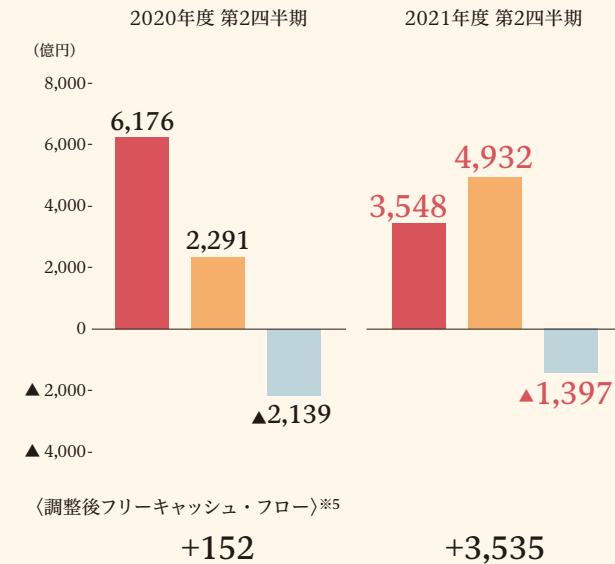
資本^{※3}

58,680 億円

※3 「資本」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する資本を表しています。

キャッシュ・フロー

■ 営業キャッシュ・フロー ■ 営業収益キャッシュ・フロー(リース負債支払後)^{※4}
■ 投資キャッシュ・フロー



2021年度第2四半期 投資キャッシュ・フローの内訳

主な新規・更新投資

- ・豪州原料炭事業(金属資源)
- ・銅事業(金属資源)
- ・北米不動産事業(複合都市開発)
- ・LNG関連事業(天然ガス)
- ・欧州総合エネルギー事業(電力ソリューション)
- ・CVS事業(コンシューマー産業)

主な売却及び回収

- ・北米シェールガス事業(天然ガス)
- ・北米不動産事業(複合都市開発)

※4 営業収益キャッシュ・フロー(リース負債支払後)：運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フロー(連結純利益(非支配持分を含む)－減価償却費－投資活動関連損益－未配当の持分法損益－貸倒費用等－繰延税金)にリース負債の支払額を反映したものの。

※5 調整後フリーキャッシュ・フロー：営業収益キャッシュ・フロー(リース負債支払後)と投資キャッシュ・フローの合計。

業績の詳細については、[三菱商事ホームページ](#)に掲載しています。

三菱商事 決算公表資料

検索



カーボンニュートラル社会へのロードマップ

EX・DX 一体推進による未来創造

2021年10月に策定した「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」は、天然ガスなどのエネルギーの安定供給責任を全うしつつ、カーボンニュートラル社会実現に向けて脱炭素との両立を目指す取り組み手順を示したものです。その概要を紹介します。

ロードマップ3つのポイント

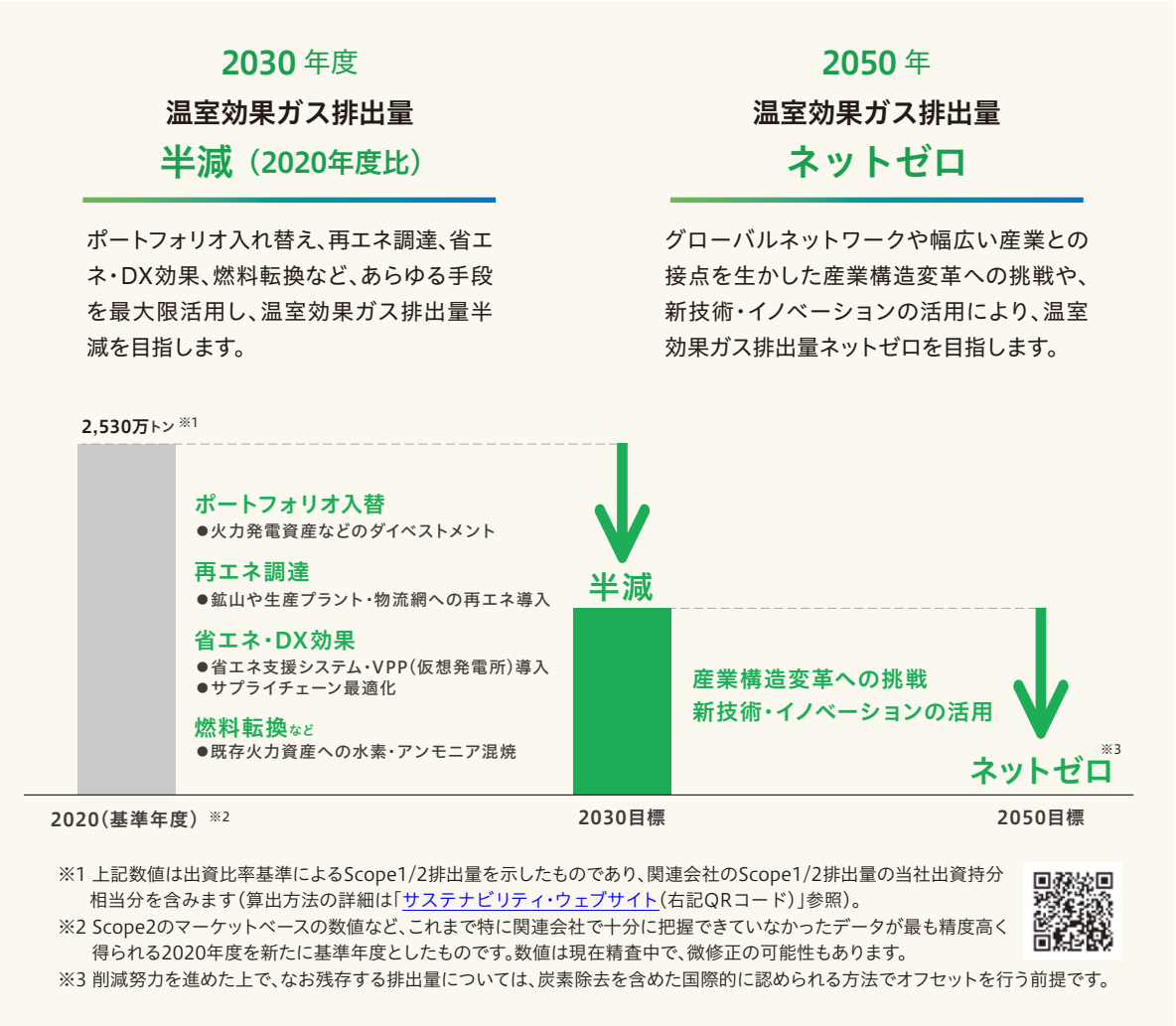
- POINT 01 温室効果ガス削減目標
2030年度半減・2050年ネットゼロ
(2020年度比)
- POINT 02 2030年度までに
2兆円規模のEX関連投資
(エネルギー・トランスフォーメーション)
- POINT 03 EX・DX一体推進による「新たな未来創造」



温室効果ガス排出量の削減目標

2050年に温室効果ガスの排出ネットゼロを前提とし、新たな2030年度中間目標と具体的な削減計画を策定しました。火力発電資産のダイベスト

メントを中心としたポートフォリオ入替などにより、2030年度までに排出量の半減を目指します。






- Scope3については、上記※1記載の関連会社分の取扱いも含め特に排出の大きなカテゴリーの適切な排出量管理・開示の在り方を、今後の国際的な議論の状況もふまえて検討します。
- 温室効果ガス排出量削減目標に係る削減計画や施策は、技術発展・経済性・政策/制度支援などの進捗に応じて柔軟に変更します。

EX・DXへの取り組み

EXの分野では、再生可能エネルギーや、水素・アンモニアなどの次世代エネルギーを中心に、2030年度までに2兆円規模の投資をグローバルに進めています。

また、DXの分野では、領域横断でデータを連携し、効率化・最適化することで、産業全体・街全体の省エネや利便性を向上させる取り組みを推進します。




- 1 再生可能エネルギー事業の拡大 
- 2 電化を支えるベースメタル・レアメタルへの取り組み 
- 3 移行期間におけるエネルギー源の低・脱炭素化と次世代エネルギーサプライチェーン構築への取り組み 

再生可能エネルギー持分容量を倍増し、電化に不可欠な銅をはじめとするベースメタル・レアメタル事業を強化していきます。また、天然ガスの安定供給を継続しつつ、エネルギー源の低・脱炭素化、水素やアンモニアなどの次世代エネルギーのサプライチェーンの構築にもグローバルに取り組むことで、エネルギーの安定供給と脱炭素化を両立し、カーボンニュートラル社会の実現を目指します。

EX 2030年度までに
2兆円規模のEX関連投資



DX デジタルによる徹底的な最適化促進と産業横断型プラットフォーム構築への挑戦

- 1 サプライチェーンの最適化 
- 2 非競争領域での協調と本来の競争領域への注力 
- 2 データの相互連携と最適サービスの提供 

デジタルによる徹底的な最適化促進を図るとともに、産業横断型プラットフォーム構築に挑戦します。産業分野では、デジタル技術によるサプライチェーンの最適化を通して、省エネ・廃棄ロス削減と、競争領域への注力による産業競争力向上の両立を実現します。生活面では、さまざまな領域のデータを連携し、個人や世帯のライフスタイル・ステージに合わせた最適な統合サービスの提供を目指します。

EX・DXの一体推進による新たな未来へ

エネルギーの低・脱炭素化に向けたEXと、デジタル技術の活用による変革を目指すDXを一体的に推進することで新たな価値を創出しながら、産業・地域を超えた総合的な取り組みに拡大していきます。この「EX・DXの一体推進」を通じて、気候変動問題だけでなく、資源の有効活用、環境負荷のさらな

る低減、一極集中から地域分散型社会への移行、自然災害への耐性強化といった社会課題の解決を目指します。環境負荷が低く、生産性の高い社会の実現と、便利で災害に強く、地域色豊かな自立分散型コミュニティの構築に貢献していきます。



DX・EXを通じた 低・脱炭素社会の実現に向けた取組

今や世界共通のテーマとなっている持続可能な社会の実現。当社でも重要な経営課題の一つと捉えており、三菱商事グループ全体としてデジタル・トランスフォーメーション(DX)とエネルギー・トランスフォーメーション(EX)による産業構造の改革を通して低・脱炭素社会の実現に取り組んでいます。本特集では、それらの取組についてご紹介します。



Amazonに再エネ活用電力を長期供給へ

三菱商事の子会社であり、日本国内向け電力小売りを手掛けるMCリテールエナジーは、Amazonとの間で再生可能エネルギー(再エネ)を活用した電力を供給する長期の電力販売契約(コーポレートPPA※)を結びました。

供給する再エネ電力[!]は、再エネ事業者のウエストホールディングスから調達。同社が国内450カ所以上に新設する設備容量22MWの分散型太陽光発電設備(一般家庭約5,600世帯の使用量に相当)から発電される電力をMCリテールエナジーが取りまとめてAmazonに供給します。また、太陽光発電設備の新設に際しては、三菱商事エナジーソリューションズ(MCES)が建設工程の管理と技術支援を、ElectroRoute(在アイルランド)が太陽光の発電量予想と実発電量の差異から生じ

る費用負担のリスクを請け負います。MCリテールエナジー、MCES、ElectroRouteという三菱商事グループの3社が機能を掛け合わせることで、再エネ電力の長期安定供給を実現します。

Amazonは、事業用に消費する電力を2025年までに全て再エネで賄う目標を掲げ、再エネ電力の調達を進めています。当社は既に、オランダにあるグループ会社で総合エネルギー事業会社のEnecoを通じて、欧州における洋上風力発電からの再エネ電力をAmazonに供給する契約を結んでいます。本件はそれに続く当社2件目のAmazon向けコーポレートPPAです。同時に、国内では初となるAmazon向けの再エネ長期売電案件となります。

再エネへの転換は世界中の多くの企業にとって喫緊の課題であり、三菱商事グループは自社の

CO₂排出削減を進めると同時に、再エネの開発／供給を通じて地球規模の温室効果ガスの削減に積極的に取り組んでまいります。

※ Corporate Power Purchase Agreementの略で、特定の企業に電力を販売する、企業向け電力販売契約のこと。



再エネ電力

風力や太陽光、水力、地熱などの自然エネルギーを活用して発電された電力のこと。再エネは、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時にCO₂をほとんど排出しないことから、脱炭素実現に向けて大きな役割を果たすことが期待されています。



ウエストホールディングスが手掛けた太陽光発電設備

食品流通業界におけるDX

—在庫最適化ソリューションの開発

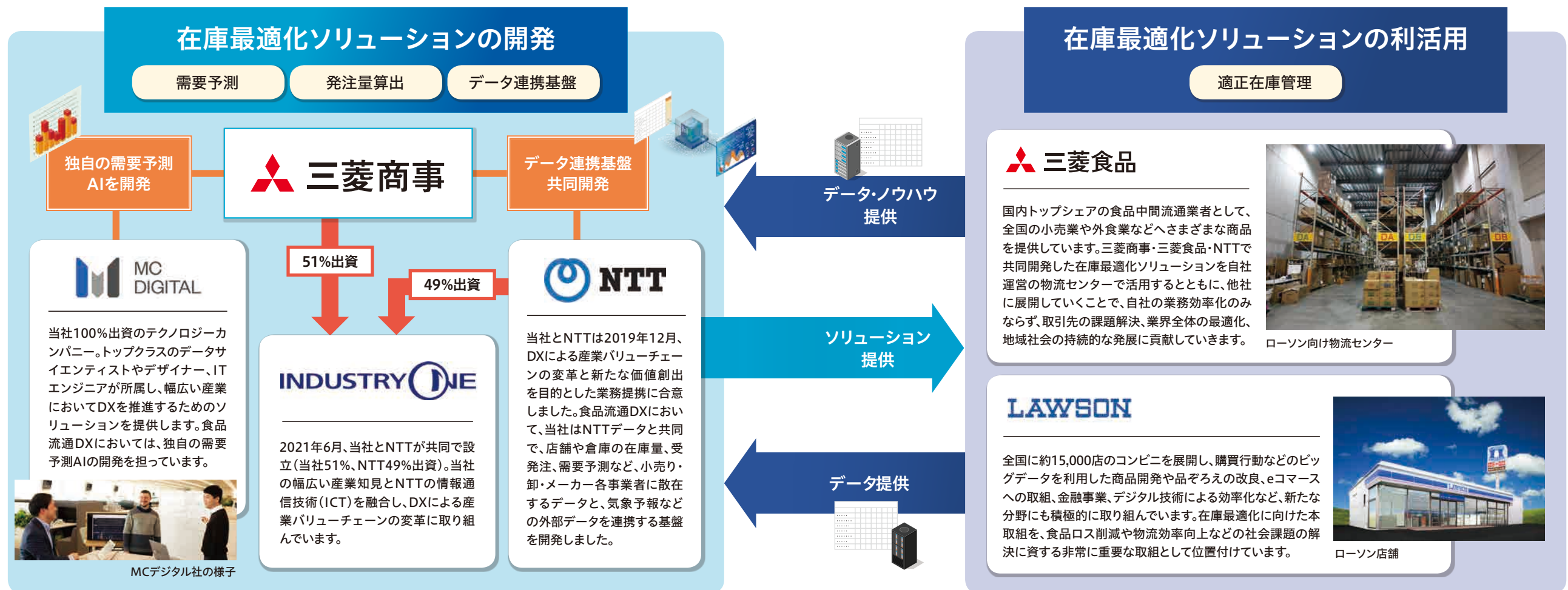
幅広い分野に事業を展開する当社は、あらゆる産業に対してDX(デジタル・トランスフォーメーション)促進に向けたソリューションを提供する「デジタルプラットフォーム」を構築することで、産業全体の発展と

社会課題の解決を目指しています。その実例として、食品流通業界におけるDXの事例をご紹介します。
現在の食品流通分野では、国内だけで年間約1兆円規模ともいわれる食品ロスが大きな問題の

一つとなっています。在庫過剰などにより発生する食品ロスの削減に向け、日本電信電話(NTT)と共に設立したIndustry Oneを中心に、パートナー企業と一体となって、在庫最適化ソリューションの開発を進めています。企業内・企業間で散在するデータと、気象予測等の外部データを連携する基盤をNTTデータと共同開発。さらに、三菱商事グループのMCデジタル社と共同で独自の需要予測AIを開

発しました。三菱食品と共に臨んだ実証実験では、最大4割の在庫削減を実現すると同時に、全体的な欠品率の低下にも成功しました。在庫最適化ソリューションは、三菱食品が運営するローソン向け物流センターに提供され、他の企業にも順次展開していく予定です。本取組を通じて食品ロスや配送に伴うCO₂の削減、人手不足といった社会・環境問題の解決に貢献していきます。

パートナー企業と一体となって取り組む食品流通DX



北米での燃料アンモニア製造に向けたCO₂の輸送・貯留に関して合意

当社は、燃料として用いられるアンモニア(燃料アンモニア[!])の米国内製造を目指して、米国の石油・天然ガス企業DenburyとCO₂輸送及び貯留に関する主要条件に合意しました。

脱炭素社会実現に向けた国際的な取組が加速する中、燃料アンモニアは、次世代クリーン燃料の一つとして期待されています。当社は、2020年代後半に米国で年間100万トンの燃料アンモニアを製

造、日本市場への輸出を目指します。

アンモニア製造過程で発生するCO₂を回収し、大気へ放出しない形でDenburyが処理。同社は米国メキシコ湾岸に世界最大級のCO₂輸送パイプライン網を有しており、回収したCO₂は地中に注入して石油が産出しやすくなるように利用、または地下に貯留する計画です。

日本における燃料アンモニアの社会実装を目指

し、当社はアンモニア製造、CO₂の回収・有効利用・貯留(CCUS[※])事業等を通じて、燃料アンモニアのサプライチェーン構築を推進していきます。エネルギー資源の安定供給と脱炭素化を両立させること

で、持続的な成長を目指していきます。

※Carbon Capture, Utilization and Storageの略。大気中のCO₂を回収して、地中に貯留したり、素材や燃料として利用したりする技術のこと。



燃料アンモニア

次世代クリーンエネルギーの一つとして大きく期待されながら、気体のままでは爆発・火災のリスクが高く、貯蔵・輸送面の課題がある水素。その課題を解決する存在として、水素と窒素の化合物であるアンモニアが注目を集めています。

アンモニアは現在世界中に流通し、燃焼時にCO₂を排出しません。また、既存の石炭火力発電設備でそのまま燃焼させることが可能で、火力発電の燃料をアンモニアに置き換えることでCO₂排出量削減が期待されます。

再生素材を活用したサステナブルな服作り

当社の100%子会社である三菱商事ファッションは、「循環」をテーマに環境に優しい服作りに取り組むD2C[※]ブランド「NAGIE(凧へ)」を立ち上げました。大量生産・大量廃棄を伴う従来型のビジネ

スモデルからの脱却を目指し、サステナブルなものづくりを掲げるNAGIEは、全ての製品において、生地全体の約8割にリサイクルペットボトル由来の原料を中心とする再生素材を使用。

また、顧客からの注文後に縫製を開始する受注生産方式を採用することで、余剰生産や廃棄といった課題の解決にも挑んでいます。2021年3月からECサイトを通じて受注生産を開始しており、ラインアップには、仕事やスポーツなどさまざまなシーンで着用できる製品をそろえ、サステナビリティだけでなく、着心地・機能性・デザイン性も追求。アパレル業界に持続可能なビジネスモデルを提示していきます。

※Direct to Consumerの略。メーカーやブランドが企画・生産した商品を、小売店のような既存流通を介さず、消費者に直接販売する形態のこと。



NAGIE公式サイト



参加型スマホアプリでSDGs達成を支援

三菱商事グループのマーケティング事業会社ロイヤリティ マーケティング(LM)は、LMのポイントプログラム「Ponta」の持つ1億人超の会員基盤と、提携企業のネットワークを活かし、SDGs^{※1}達成に向けて取り組んでいます。その一環として2021年4月に参加型のスマートフォンアプリ「Green Ponta Action」をリリースしました。

アプリのユーザーが、持続可能性に配慮した商品を買う、歩くといったアクションをすることで、スコアがたまる仕組みです。また、全ユーザーのアクションの積み重ねに応じて、LMがCO₂排出削減や環境保全に取り組む団体へ寄付。日本の森林に由来するカーボン・クレジット^{※2}を購入し、森づくりを

支援するプロジェクトも実施しています。本年4月から9月までの合計で497トンのCO₂削減を実現しており、これからも生活者と企業、社会をつなぎ、持続可能な未来の実現に向けて取り組んでいきます。

Green Ponta Action

\ダウンロードはこちらから! /



2021年10月から、Green Ponta Actionのシーズン2がスタート!



※1 Sustainable Development Goalsの略。国連が定めた、持続可能な社会を実現するための開発目標。

※2 植林や間伐といった森林管理やCCUSにより削減・吸収したCO₂などの温室効果ガスの削減・吸収量を定量化して、取引可能な形態にしたもの。自助努力だけでは減らせないCO₂排出量を埋め合わせることもできる(カーボン・オフセット)。

障がい者スポーツ支援 ～インクルーシブ社会の実現に向けて～

当社は企業理念『三綱領』に沿って、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。その一環として、2014年には障がい者スポーツ応援プロジェクト「DREAM AS ONE.」を立ち上げ、インクルーシブ社会の実現に向け、さまざまなスポーツ大会への協賛や選手の支援などを行っています。東京2020パラリンピックには、当社所属のアスリート5人が出場し全選手が入賞しました。当社の取組と、当社所属選手をご紹介します。

DREAM AS ONE.

当社は社会貢献活動の軸の一つとして「インクルーシブ社会の実現」を掲げ、障がい者スポーツを応援するプロジェクト「DREAM AS ONE.」に取り組んでいます。同プロジェクトでは、障がい者スポーツの理解度・認知度の向上や、裾野の拡大を目指し、トップアスリートの支援から、障がいを持つ子どもたち向けのイベント開催まで、さまざまな活動を実施しています。当社はDREAM AS ONE.の活動を今後も継続・発展させていきます。



当社所属の選手も参加し、障がいのある子どもとその保護者でパラスポーツを体験する教室「DREAMキャンプ」



車いすラグビー

2大会連続 銅メダル獲得

前回のリオ大会に続き2大会連続で銅メダルに輝き、大きな注目を浴びた車いすラグビー日本代表。当社所属の2選手が選出され出場しました。手足の感覚や筋力が徐々に低下する難病のある池崎選手は今回でパラリンピック出場3回目、エースとしてチームの攻撃をけん引しました。頸髄を損傷した影響により両手足に障がいのある今井選手は、守備の要として2回目のパラリンピック出場を果たしました。両選手とも、リオ大会、2018年の世界選手権優勝時も主要メンバーとして活躍しました。



池崎大輔選手

たくさんの応援ありがとうございました。金メダルに届かなかったのは悔しいですが、皆さんの応援で取れた銅メダル。次はまた違う色のメダルを目指します。



今井友明選手

厳しい状況の中で、多くの人の支えを実感しました。目標としていた金メダルではないですが、銅メダルという形で皆さんへの感謝を表現できたことはうれしいです。

競泳

シーズンベストを記録し4位入賞

東海林 大

200m個人メドレー 4位
100mバタフライ予選 11位
混合4×100mフリーリレー
4位(アジア記録)



自閉症スペクトラム症により気持ちのコントロールが難しい東海林選手ですが、高校1年時から本格的に競泳に取り組み、日本記録やアジア記録を次々に更新。念願の初出場となった今回、200m個人メドレーでシーズンベストの記録で4位入賞を果たしました。



「自分を信じて全集中して
戦えたことが、自信になりました。
悔いはありません」

競泳

目標の決勝に進出

西田 杏

50mバタフライ 8位



写真提供 朝日新聞社

先天的な上下肢障がいのある西田選手。リオ大会の出場を逃した後、競技転向を検討するなど苦しい時期が続きましたが、今年度には2度日本記録を更新して出場決定。以降、決勝進出を一つの目標に練習を積み重ね、見事予選を通過して決勝に進みました。



「小さい頃からの夢で、やっとつかった舞台。
この1年はつらい時も多かったですが、
本当に楽しい試合でした」

競泳

記録更新！日本新×3、アジア新×1

辻内彩野

混合4×100m 49ポイント
フリーリレー 5位(アジア記録)
50m自由形 7位(日本記録)
400m自由形 8位(日本記録)
100m平泳ぎ予選 10位



写真提供 朝日新聞社

水泳一家に生まれた辻内彩野選手は、大学入学後、視力が低下していく難病の診断を受け、2017年からパラ水泳に転向。今大会では、日本代表チーム「トビウオジャパン」の副キャプテンを務めました。本命の自由形では2つ、日本記録を更新し入賞、リレーではアジア記録を更新しました。



「競泳会場は生まれ育った地元の
すぐ近く。緊張もせず、伸び伸び
楽しんでレースできました」

中国で障がい者サッカー大会を支援

当社の障がい者スポーツ支援活動は国内だけにとどまりません。中国・北京では、三菱グループ10社と共に、障がい者民間サッカー大会「三菱友誼杯」を、中国側パートナーとの共催で2015年開始当時から支援しています。同国はパラリンピックでも数多くのメダルを獲得するなど競技者レベルでの環境整備が進む一方で、一般的に障がい者がスポーツを楽しむ機会が限られていました。本大会は聴覚・視覚・知的の障がい別にチーム編成し、より多くの方々にスポーツ参加を促す場として親しまれています。



三菱友誼杯での一場面(ブラインドサッカー)

会社情報

コーポレートデータ (2021年9月30日現在)

社名 三菱商事株式会社
 創立 1954年7月1日 (設立1950年4月1日)
 資本金 204,446,667,326円
 本店登記地 三菱商事ビルディング 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号
 従業員数 連結82,997名、単体 4,499名 ※2021年3月31日時点の就業人員数を記載しています。
 連結対象会社数 1,728社

取締役及び監査役 (2021年9月30日現在)

取締役会長 小林 健	取締役 (社外) 西山昭彦 (立命館大学教授)
*取締役社長 垣内威彦	取締役 (社外) 齋木昭隆
*取締役常務執行役員 増一行	取締役 (社外) 立岡恒良
*取締役常務執行役員 村越 晃	取締役 (社外) 宮永俊一 (三菱重工業(株)取締役会長)
*取締役常務執行役員 平井康光	取締役 (社外) 秋山咲恵 ((株)サキコーポレーション ファウンダー)
取締役常務執行役員 柏木 豊	監査役 (常勤) 内野州馬
	監査役 (常勤) 平野 肇
	監査役 (社外) 高山靖子
	監査役 (社外) 佐藤りえ子 (石井法律事務所 パートナー)
	監査役 (社外) 中尾 健 ((株)パートナーズ・ホールディングス 代表取締役社長)

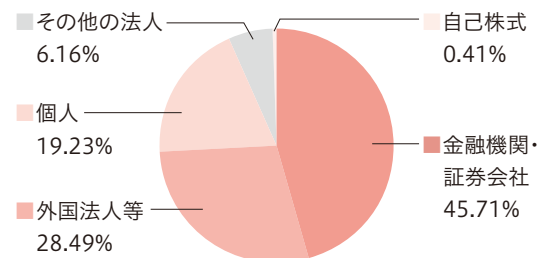
※*は代表取締役を示しています。
 ※全ての社外取締役及び社外監査役を、(株)東京証券取引所が定める独立役員として指定しています。

株式等の状況 (2021年9月30日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数 25億株
 発行済株式総数 1,485,723,351株
 株主数 357,937名

株主構成 (所有者別の持株比率)



三菱商事の事業活動やサステナビリティ、投資家情報、最新の統合報告書など詳しくは[ホームページ](#)をご参照ください。



株主メモ

証券コード 8058
 上場証券取引所 東京
 単元株式数 100株
 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 期末配当金支払株主確定日 3月31日
 中間配当金支払株主確定日 9月30日
 公告方法 電子公告

ただし、事故その他やむをえない事由により、電子公告ができない場合は、官報に掲載します。

〈公告掲載アドレス〉 <https://www.mitsubishicorp.com>

株主名簿管理人・特別口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 (連絡先) 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-232-711 (通話料無料)
 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※住所変更等の各種手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 ※支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、及び特別口座に記録された株式に関する手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引のある証券会社等へ、以下の通りマイナンバーを届け出いただく必要があります。

●株式関係事務におけるマイナンバーの利用目的

法令に定められた通り、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

●マイナンバーのお届け出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-232-711 (通話料無料)

植樹 News

2011年度よりスタートした株主の皆様と共に推進する地球環境の保全・改善活動『株主の皆様と共に育む豊かな森づくり』。「株主総会招集ご通知」や「株主通信」など、株主の皆様へ紙で郵送している資料をEメールでお送りすることにご賛同いただきますと、株主お一人様につき半期に1本、マレーシアで植樹を行います。2021年度上半期は、2万4,764名の皆様にご協力いただき、これまでに累計45万6,605本の植樹が実現しました。



※詳しくは[ホームページ](#)をご覧ください。

[三菱商事 森づくり](#)

本冊子は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。



東洋文庫ミュージアム展覧会

『ミュージアム開館10周年記念 東洋文庫名品展ー「東洋学」の世界へようこそ』

2021年10月6日(水)～2022年1月16日(日)



『解体新書』
杉田玄白他訳 1774年



『東方見聞録』
マルコ・ポーロ口述 1671年

東洋文庫ミュージアムは、アジアの歴史や文化への興味を広げることを目指して、2011年に開館しました。本展では、開館10周年を記念して当館が所蔵する東西をまたぐ幅広い地域、時代の至宝を公開します。「教科書で見たことがある」というような歴史を彩る名品、そして研究活動に携わる東洋文庫研究員たちの「推しの逸品」と併せて、アジアをめぐる壮大な知の旅をお楽しみください。

『シルクロードの旅』(仮題)

2022年1月26日(水)～5月15日(日)



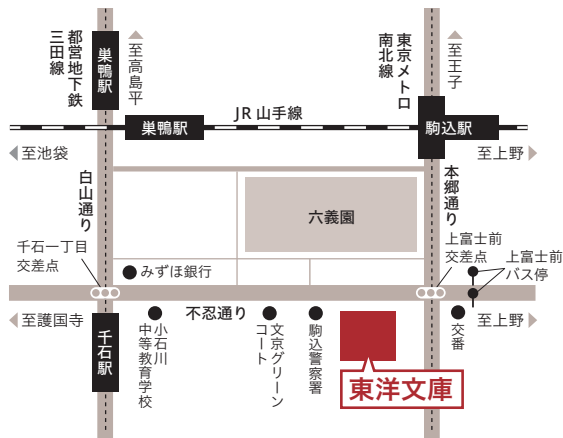
『高昌』
ル・コック 1913年

古来、多くの思想、宗教、文物が往来したシルクロードは、ユーラシアを東西南北、網の目のように結ぶネットワークです。砂漠に点在するオアシス都市、ラクダが連なるキャラバン、さまざまな奢侈品などのエキゾチックなイメージが連想されます。6世紀に日本へ伝来した仏教も、シルクロードを通して伝わりました。仏教が栄えた近代以前のシルクロードを、展示を通してたどります。

今後の展覧会の予定 『日本語の歴史』(仮題) 2022年5月25日(水)～9月25日(日)

※記載の予定は変更となる場合があります。
最新の情報は東洋文庫ホームページをご確認ください。

東洋文庫ミュージアムのご案内



住所 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21

TEL 03-3942-0280

入館料 一般900円、シニア(65歳以上)800円、
大学生700円、中学・高校生600円、小学生290円

アクセス 駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口)から徒歩8分
千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口)から徒歩7分
上富士前(都営バス)から徒歩2分

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週火曜(火曜日が祝日の場合は翌平日)、
12月28日～1月4日、展示替え期間

東洋文庫ミュージアムの
ホームページはこちら



併設のレストラン「オリент・カフェ」も
ぜひご利用ください。

【営業時間】
ランチタイム 11:30～14:30/
デザートタイム 11:30～17:30/
ディナータイム 17:30～21:00(ラストオーダー 19:00)
※定休日 火曜日(祝日の場合は翌平日)
TEL 03-3942-0400